

就職特集

3~5面

就職活動のスケジュールが過密になり、企業の「厳選採用」が定着する中で、希望の仕事に就くために学生生活で何を心がけたらよいのか。本特集では育友会就職懇談会の模様、就職力アップをめざす支援プログラムや、進路を考える際の第一歩をサポートするキャリアアドバイザーの取り組みを紹介する。また、2013年3月卒業者の就職状況を掲載した。

育友会が就職懇談会を開催

6月30日、育友会主催就職懇談会が神田キャンパスで開催された。就職活動本番を控えた3年次生のご父母・保護者を中心に、育友会員・学生ら184人が参加。3氏の講演と内定を勝ち取った4年次生4人によるパネルディスカッションが行われ、参加者たちは真剣な面持ちで聴講した。

司会は養口芳朗育友会副会長が担当。はじめに瀨在義夫育友会長が「長年の就職活動に際し、昨年の就職懇談会で伺った『あまり活動内容について聞かない』『交通費を食わせて元気づける』といったアドバイスを実行した。そうすることで、娘の方から現状について話すようになった」と自身の経験を交えて会の意義を伝えた。

一つ目の講演は高橋力三 3月卒業予定者の求人倍率(1.28倍)、さらに、就職部次長による「専修率(1.28倍)、さらに、



あいさつする瀨在会長



講演する内藤氏

「専修大学の公務員試験支援体制について」2014年憲章の見直しによって予

就職は主体的・能動的に



「専修大学の公務員試験支援体制について」をテーマに、本学で開講している公務員試験講座の内容とメリットを紹介。近年の公務員試験の傾向として「人物(面接)試験重視」を挙げ、「筆記試験対策と同時に、民間企

実りある就活のために



多くの保護者が来場した

業の採用試験と同じく、模擬面接などで対策を立てる必要がある。講座でも人物試験対策として年10回程度、対策を行ってほしい」と説明した。

内定者が助言

パネルディスカッション



4人の学生が体験談を披露

就職内定者4人によるパネルディスカッションには、長澤宏幸さん(経済4)、山口俊さん(法4)、小菅花純さん(法4)、古川里奈さん(文4)が登壇。コーディネーターの小林仁就職課主任からの問いに答えた。

「専修大学の公務員試験支援体制について」をテーマに、本学で開講している公務員試験講座の内容とメリットを紹介。近年の公務員試験の傾向として「人物(面接)試験重視」を挙げ、「筆記試験対策と同時に、民間企

学内企業説明会 in 生田



多くの企業、学生が参加

229社、4年次生・卒業生延べ705人参加

4年次生・卒業生を対象とした「学内企業説明会 in 生田」が5月29日から31日まで、生田キャンパスで開催され、延べ705人が参加した。

学内企業説明会 in サテライト	
■実施日	7月18日(木) 8月5日(月) 8月6日(火)
※1日各	15~20社
■時間	13:00~17:00
※8月6日のみ2展開	AM 10:00~13:00 PM 14:00~17:00

*参加企業など詳細はS-net掲示板でお知らせします。

基礎から試験対策まで 総合的に指導

アナウンサー講座

講じている「アナウンサー講座」は4月から来年3月まで行われている(全50回)。講師はアナウンサー養成私塾「山本勉強会」を主宰する山本勇氏と、同勉強会の卒業生でフリーアナウンサーの若林健治氏の2人で、



学生にアドバイスする山本氏

6月19日の第11回講義では自己PRの発表が行われた。これまでの講座で作成してきた自己PRを一人ひとりが発表。山本氏が内容へのアドバイスを一人ひとりに行い、

中学生の頃からアナウンサーに憧れていたと話す受講生の五十川裕明さん(文3)は、この講座に魅力を感じて専大に入学。1年次から受講し、これまで継続してきたことが自信になっていいます。アナウンサーを目指したトレーニングはもう山本先生からは社会人としての基本も指導していただき、講座を通して人間力を磨いていまして」と感想を話した。